

今後の三木市の中小企業振興策について (答申骨子案)

1	はじめに	1
2	現状と課題	2
3	中小企業振興策	
	(1) 基本方針	4
	(2) 振興戦略	4
	(3) 課題と振興戦略の関係	5
	(4) 振興戦略の方向性	6

1 はじめに

- ◆ 三木市は、中小企業振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の活性化及び雇用の促進を図り、もって豊かで質の高い市民生活を実現することを目的として、平成25年4月1日に三木市中小企業振興条例(以下「条例」という。)を制定した。三木市では、市内企業の99%以上を中小企業が占めており、市の経済と雇用の主要な担い手として大きな役割を果たしていることから、中小企業の振興は、市の経済の発展のために重要な課題となっているとし、本審議会に対し、平成25年5月31日に「今後の三木市中小企業の振興策」について諮問を行ったものである。
- ◆ 本審議会は、この諮問を受け、市の中小企業の現状を把握するとともに、課題を認識しつつ、「工業」、「商業」、「農業」、「観光」などの中小企業振興策を多面的に論議した。
- ◆ この論議に基づき、今後、三木市が推し進める中小企業振興の具体的施策について取りまとめ、提言として答申する。

2 現状と課題

(1) 現状

- ① 人口 — 出生率の低下、若者の流出により総人口が微減傾向である。併せて団塊の世代の大量退職を迎え、緑が丘を中心に高齢化の進展に伴い生産年齢人口が減少している。
- ② 事業所数 — 事業所数は減少傾向にあるが、特に金物産業関連の事業所数が激減している。
- ③ 事業所規模 — 市内企業のほとんどが中小企業であり、4人以下の小規模零細事業所が約6割を占めている。その中であって、家族経営事業所が多く、雇用を生み出す事業所となっていない。
- ④ 従業員数 — 全事業所での従業員数は微増傾向にあるが、金物産業関連事業所の従業員数は激減している。
- ⑤ 販売額 — 製造業、卸売業、小売業など全体では微増傾向にあるものの、製造業の製品出荷額は横ばい傾向にあり、特に約3割を占める金物産業は平成3年をピークに減少傾向にある。
- ⑥ 商品開発 — 金物産業の一部の企業においては、新製品の開発を進めているが、業界全体として活発化していない。
- ⑦ 観光客数 — 日帰り観光客が増加傾向にあるが、ゴルフ場をはじめレクリエーション施設や道の駅みきなどへの入込みがほとんどであり、市内循環型になっていない。
- ⑧ 特産物 — 生産量や質が日本一の金物(大工道具)、酒米山田錦、生産量が県下一の生食ぶどうの他、菊、黒豆などの特産物がある。

(2) 課題

まち全体が元気で発展・成長していくために、本市の産業振興に取り組むには既成概念にとらわれず、大胆な変革が必要です。

そこで、中長期的な視点に立ち、活力ある産業の創造を目指し、農・商・工・観光の枠を越え、事業者、市民、関係団体、行政が一体となって本市の産業振興に取り組む必要があります。

課題1

・ 三木の持つ高度な技術、人財を結集し、経営力、競争力を強化するとともに、新しい三木製品を国内外に展開する必要がある。

課題2

・ あらゆる資源が連携した新たな産業を育成し、市内経済の活性化を図るとともに、若者の定住促進のため雇用の場を確保する必要がある。

課題3

・ 少子高齢化等新たな社会構造に対応した、商業機能やサービス機能を充実し、交流人口を増加させることで活性化を図る必要がある。

3 中小企業振興策

(1) 基本方針

3つの課題を解決するため、5つの振興戦略を実施することにより、中小企業の振興を図り、三木市の経済を活性化する。

(2) 振興戦略

(1) 時代や社会のニーズを捉え、「新分野の開拓や経営改革」を促進し、三木ブランドとして発信する。

(2) 三木の産業を支える人材確保、人材育成を図る。

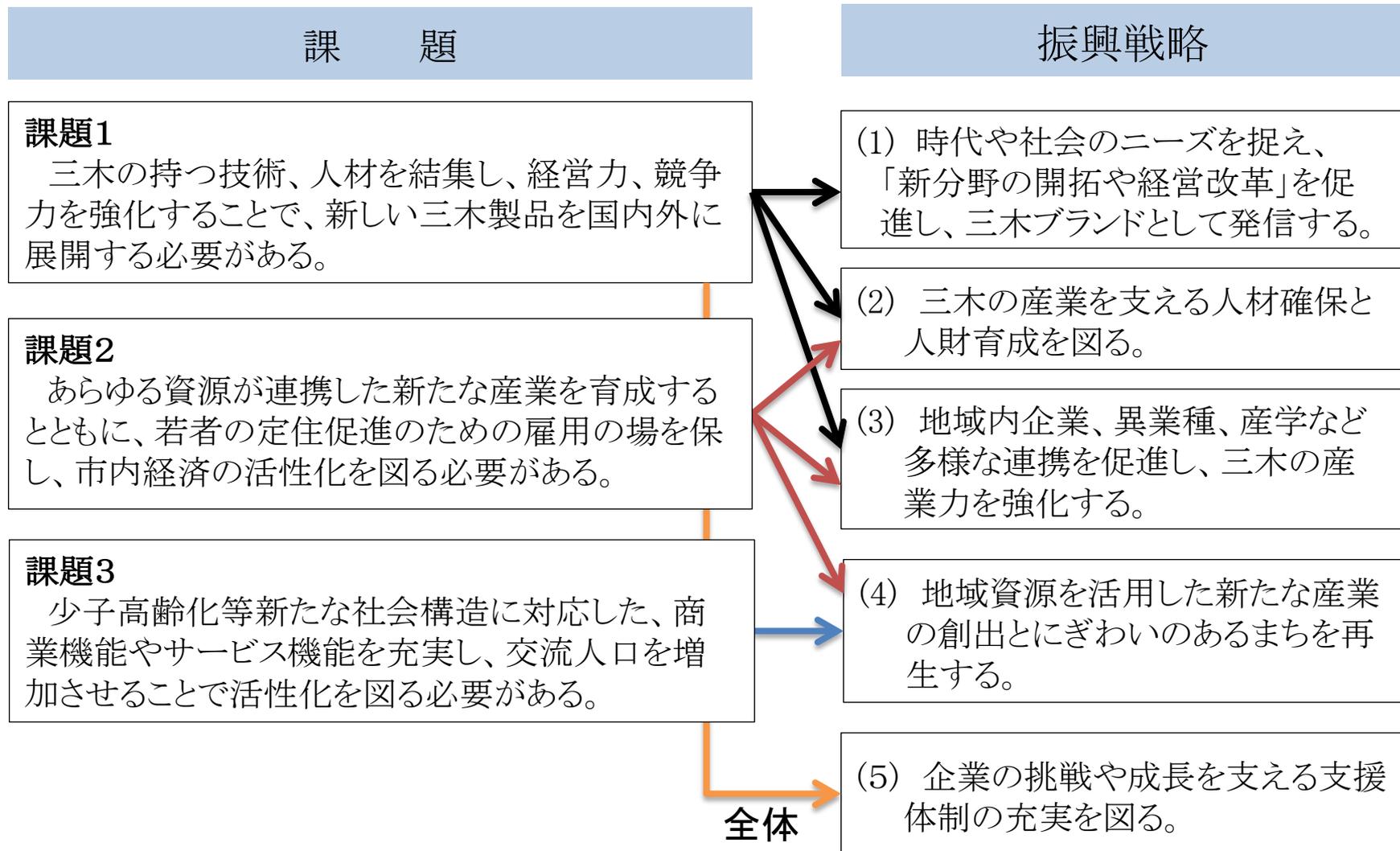
(3) 地域内企業、異業種、産学など多様な連携を促進し、三木の産業力を強化する。

(4) 地域資源を活用した新たな産業の創出とにぎわいのあるまちを再生する。

(5) 企業の挑戦や成長を支える支援体制の充実を図る

3 中小企業振興策

(3) 課題と振興戦略の関係



3 中小企業振興策

(4) 振興戦略の方向性

戦略1 時代や社会のニーズを捉え、「新分野の開拓や経営改革」を促進し、三木ブランドとして発信する。

三木のものづくり産業が、新分野への進出、消費者ニーズに合った新製品の開発など、積極的な経営革新(新たな取り組みによる経営力の向上)により、新市場への進出を図る。

- ① 革新的企業を集中的に支援し、既存産業の経営革新、成長産業分野等(特に医療・介護、環境・エネルギー、観光)への進出を推進
- ② 一般消費者向けの新たな製品開発への取り組み強化、金物をはじめとした三木のブランド力を拡大
- ③ 海外への情報発信、海外市場の開拓を推進

戦略2 三木の産業を支える人材確保と人財育成を図る。

企業誘致と既存企業のイメージアップで人材を確保するとともに、三木のものづくりを支える人財を育成する。

- ① 更なる企業誘致を進め、雇用の場の拡大
- ② 話題性のある製品づくりで三木の技能をアピール、魅力ある企業づくりで人材確保
- ③ 三木のものづくり技能の継承と企業間技術交流の促進による、ものづくり人財の育成

戦略3 地域内企業、異業種、産学公等多様な連携を促進し、三木の産業力を強化する。

地域内企業間連携、異業種連携、産学公連携など多様な連携を促進し、新事業の創出や技術の高度化を促進し、三木の産業力の強化を図る。

- ① 業種を超えた市内企業連携や大学、大企業との技術マッチングによる新製品開発、マーケティング研究を促進
- ② 市内商工業者が市内農家と連携し特産物で新製品を開発するための農商工連携を促進
- ③ 経済団体は地域内経済活性化に貢献し、市民は、市内消費を拡大し、企業の販売力強化を推進

戦略4 地域資源を活用した新たな産業の創出とにぎわいのあるまちを再生する。

三木の新たな資源(魅力)の発掘、再発見による価値の創出と、あらゆる資源を連携活用し、三木の魅力を発信する産業を創る。また、まちのにぎわいを再生し、少子高齢化に対応した商業機能をつくる。

- ① 農業体験、鍛冶体験など産業の観光化や、産業と観光資源を連携したツーリズムの開発を推進
- ② ハーブに次ぐ農業の6次産業化を促進と9次産業(6次産業と観光)の育成
- ③ 商店街のコミュニティー空間を提供し、子育て世代、高齢者を中心に多世代の交流の場として、まちのにぎわいを再生

戦略5 企業の挑戦や成長を支える支援体制の充実を図る

企業の経営革新による企業の信用力強化、多様な連携による新たな挑戦を支援し、企業の成長を総合的に支援する体制作りを推進する。

- ① 経営革新計画策定の推進、技術評価制度の創設による企業信用力の強化を支援
- ② 経営効率化、経営基盤強化による競争力強化を支援
- ③ 地域内企業間連携、異業種連携、産学公連携を支援